

(7) 社会教育系施設：図書館

1) 施設概要

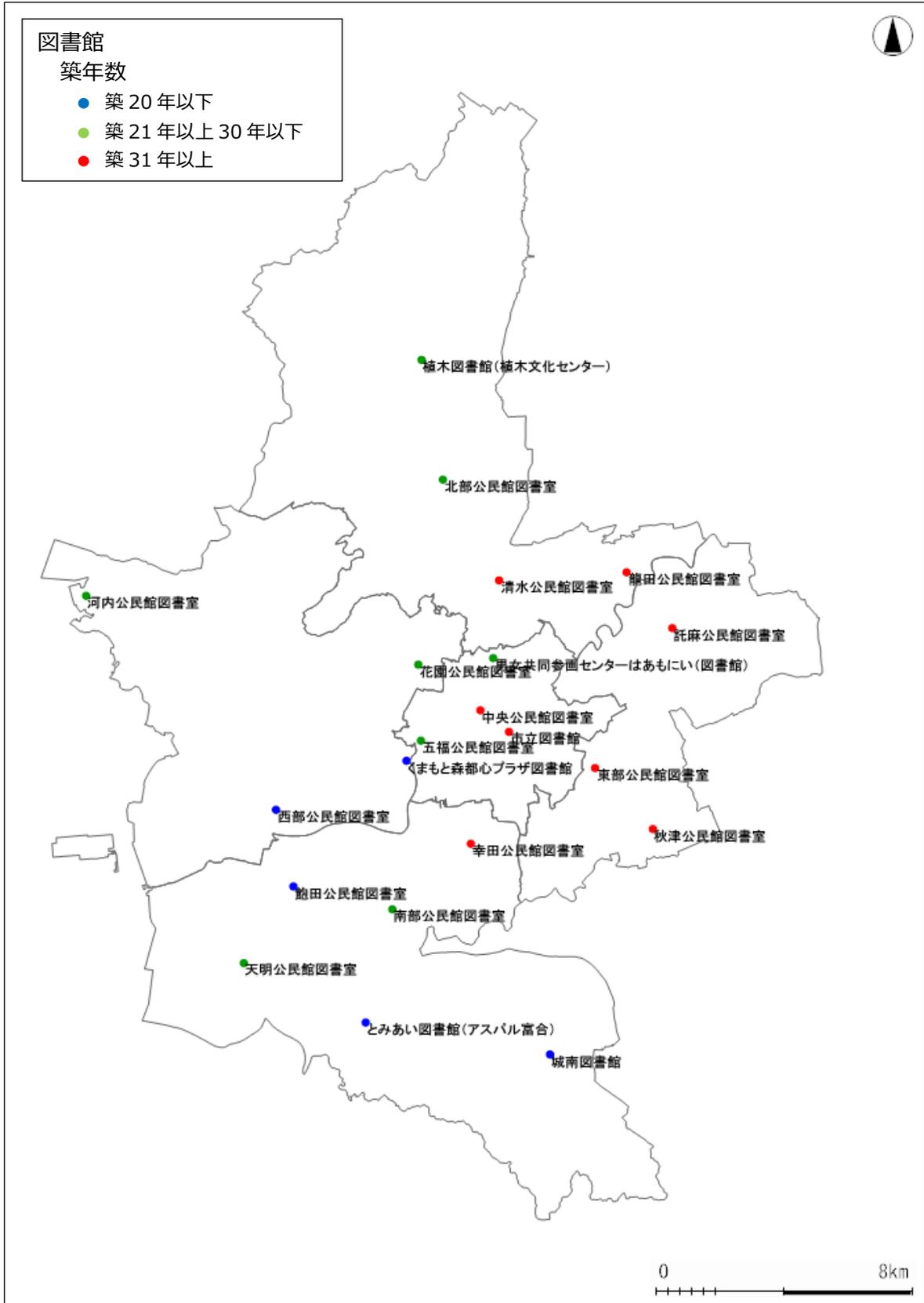
本市の図書館は、21 施設あります。総延床面積は約 1 万 7 千㎡で、市が保有する施設の 0.7%を占めます。築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 8 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 8 施設、築 20 年以下が 5 施設です。

①施設一覧（平成 28 年 4 月 1 日現在）

No	名 称	所 在 地	建 築 年 度	築 年 数	延床面積 (㎡)	備 考
1	市立図書館	中央区大江 6 丁目 1 番 74 号	昭和 56 年	35	5,230.76	
2	城南図書館(図書館)	南区城南町舞原 451 番地 9	平成 25 年	3	1,531.14	市立図書館分館 児童館併設
3	中央公民館図書室	中央区草葉町 5 番 1 号	昭和 43 年	48	199.20	
4	五福公民館図書室	中央区細工町 2 丁目 25 番地	平成 3 年	25	260.01	
5	河内公民館図書室	西区河内町船津 791 番地	平成 2 年	26	149.92	
6	託麻公民館図書室	東区長嶺東 7 丁目 11 番 15 号	昭和 55 年	36	304.20	
7	秋津公民館図書室	東区秋津 3 丁目 15 番 1 号	昭和 60 年	31	240.79	
8	東部公民館図書室	東区錦ヶ丘 1 番 1 号	昭和 52 年	39	233.16	
9	西部公民館図書室	西区小島 2 丁目 7 番 1 号	平成 24 年	4	302.27	
10	花園公民館図書室	西区花園 5 丁目 8 番 3 号	平成 2 年	26	262.57	
11	飽田公民館図書室	南区会富町 1333 番地 1	平成 8 年	20	276.05	
12	天明公民館図書室	南区奥古閑町 2035 番地	平成 3 年	25	246.72	
13	幸田公民館図書室	南区幸田 2 丁目 4 番 1 号	昭和 57 年	34	277.05	
14	南部公民館図書室	南区南高江 6 丁目 7 番 35 号	昭和 62 年	29	275.19	
15	北部公民館図書室	北区鹿子木町 66 番地	平成元年	27	170.61	
16	清水公民館図書室	北区清水亀井町 14 番 7 号	昭和 59 年	32	212.43	
17	龍田公民館図書室	北区龍田弓削 1 丁目 1 番 10 号	昭和 54 年	37	297.00	
18	植木文化センター(図書館)	北区植木町岩野 238 番地 1	平成 5 年	23	623.36	市立図書館分館 正式名称:植木図書館
19	アスパル富合(図書館)	南区富合町清藤 400 番地	平成 14 年	14	748.60	市立図書館分館 正式名称:とみあい図書館
20	男女共同参画センターはあもにい (図書館)	中央区黒髪 3 丁目 3 番 10 号	平成 2 年	26	175.84	
21	くまもと森都心プラザ(図書館)	西区春日 1 丁目 14 番 1 号	平成 23 年	5	4,591.22	
合 計					16,608.09	

②配置状況

図表 施設配置図：全体（平成 28 年 4 月 1 日現在）



2) 実態把握

①運営状況（平成 28 年 4 月 1 日現在）

No	名 称	平日 運営時間	休館日	開館日数	蔵書数	運営方法 (直営、指定管理)
1	市立図書館	9:30～19:00	月曜日(月曜日が休日に当たるときはその直後の休日でない日)・年末年始・特別整理日	308	546,812	直営
2	城南図書館(図書館)	9:30～20:00	第4水曜日(当該水曜日が休日にあたるときはその直後の休日でない日)・年末年始・特別整理日	345	80,918	指定管理
3	中央公民館図書室	9:30～17:00	月曜日(月曜日が休日に当たるときはその直後の休日でない日)・年末年始・室内整理日・特別整理日	292	35,202	直営
4	五福公民館図書室	9:30～17:00		290	16,558	直営
5	河内公民館図書室	9:30～17:00		294	23,249	直営
6	託麻公民館図書室	9:30～17:00		284	32,144	直営
7	秋津公民館図書室	9:30～17:00		281	33,101	直営
8	東部公民館図書室	9:30～17:00		291	33,771	直営
9	西部公民館図書室	9:30～17:00		288	26,198	直営
10	花園公民館図書室	9:30～17:00		289	29,628	直営
11	飽田公民館図書室	9:30～17:00		291	30,340	直営
12	天明公民館図書室	9:30～17:00		291	23,573	直営
13	幸田公民館図書室	9:30～17:00		291	32,815	直営
14	南部公民館図書室	9:30～17:00		290	33,802	直営
15	北部公民館図書室	9:30～17:00		290	22,103	直営
16	清水公民館図書室	9:30～17:00		285	31,772	直営
17	龍田公民館図書室	9:30～17:00	289	33,616	直営	
18	植木文化センター (図書館)	9:30～19:00		303	66,349	直営
19	アスパル富合 (図書館)	9:30～19:00	月曜日(月曜日が休日に当たるときはその直後の休日でない日)・年末年始・特別整理日	303	59,905	直営
20	男女共同参画センター はあもにい(図書館)	9:00～19:00	第2、第4月曜日(当該月曜日が休日に当たるときはその直後の休日でない日)・年末年始・特別整理日	329	18,406	指定管理
21	くまもと森都心プラザ (図書館)	9:30～20:00	毎月第3水曜日(当該水曜日が休日にあたるときはその直後の休日でない日)・年末年始・特別整理日	343	298,941	指定管理
合 計					1,509,203	

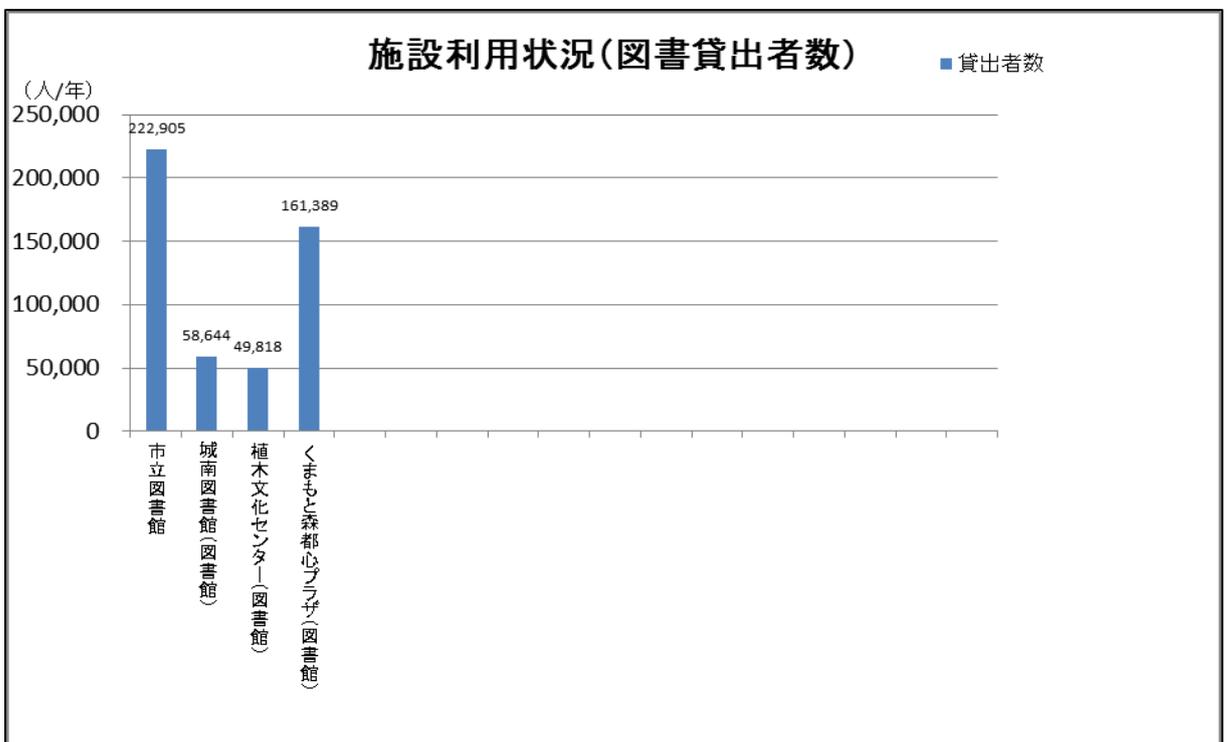
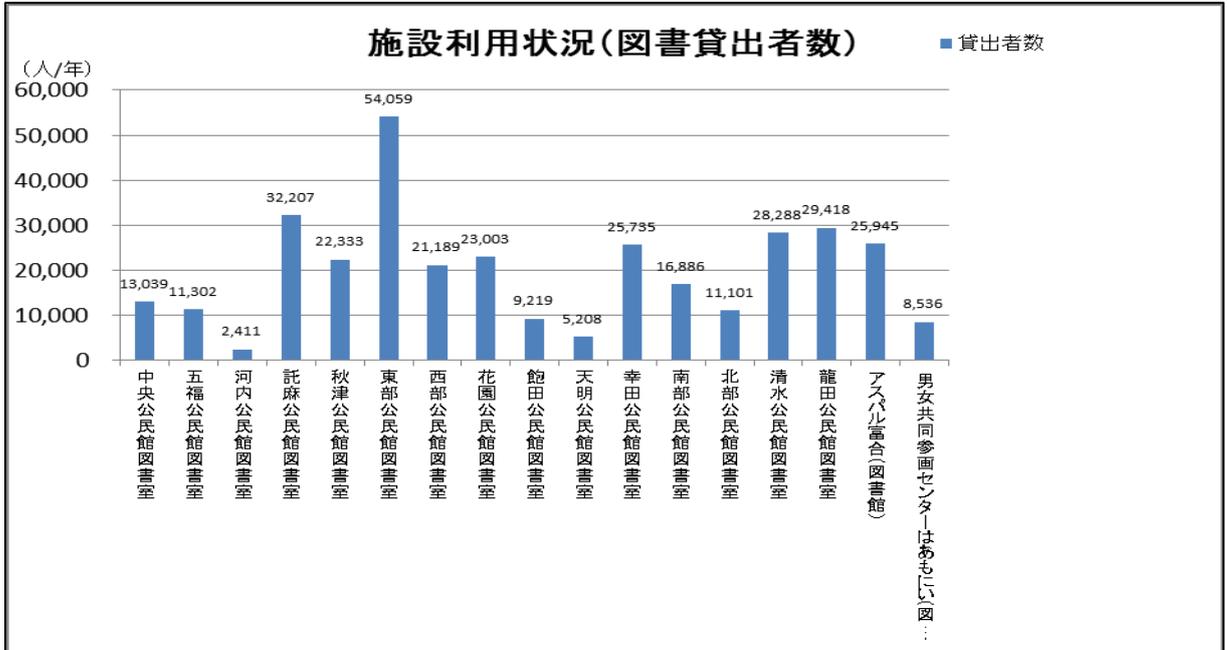
※移動図書館を含む ※開館日数は平成 27 年度実績

※開館日数及び蔵書数は図書館事業統計（平成 28 年）の数値を基にしています。

②利用状況

図書館の平成 27 年度の図書貸出者数は全体で約 83 万人です。施設別では、市立図書館が約 22 万人で全体の 27%を占めています。次いで、くまもと森都心プラザが約 16 万人で全体の 19%を占めています。他の殆どの図書館が 1 万人から 2 万人ですが、中には 1 万人に満たない図書館もあります。

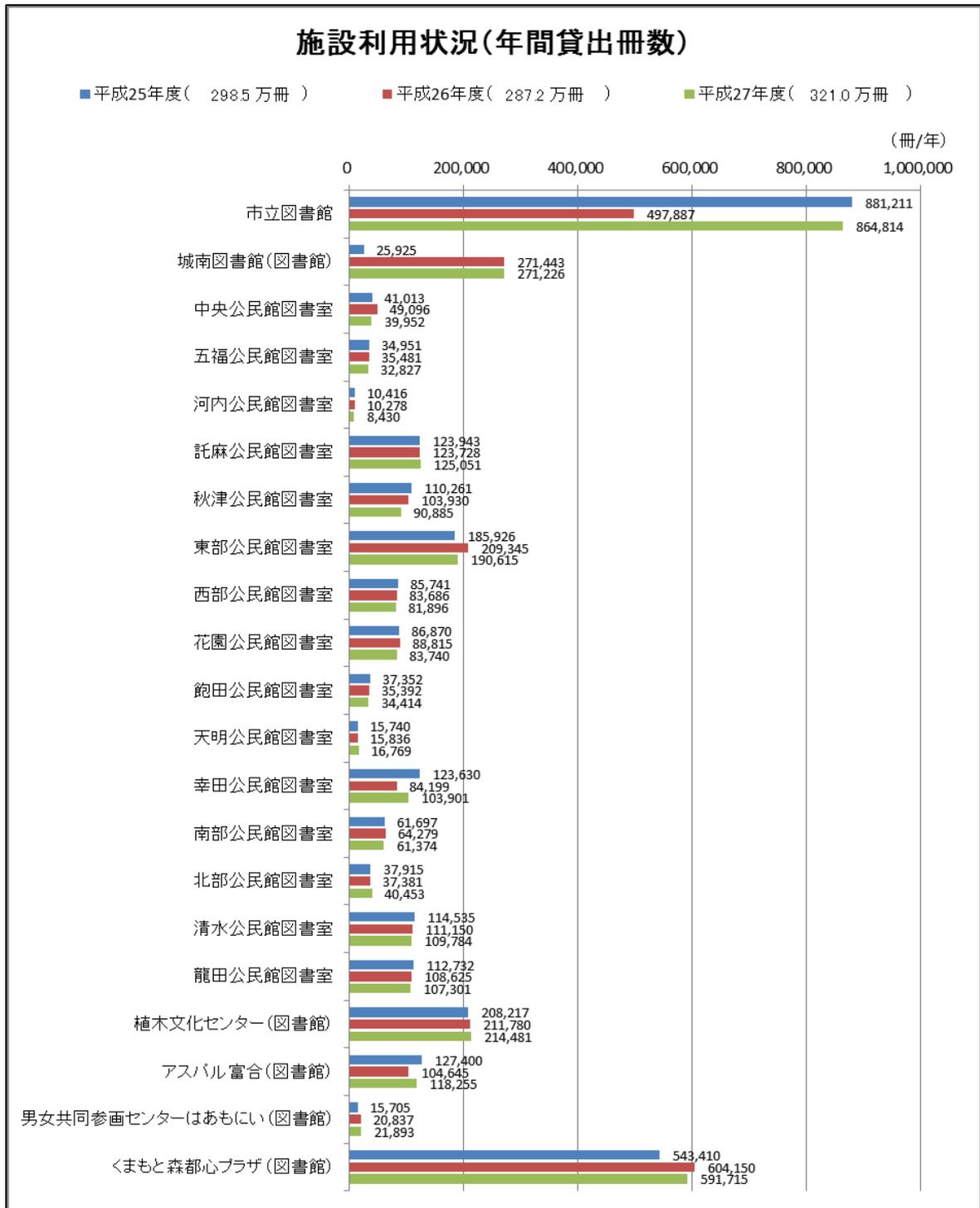
図表 施設別図書貸出者数（平成 27 年度）



※ 移動図書館を除く

平成 27 年度の貸出冊数は全体で約 321 万冊です。平成 25 年度と比較して、8%程度増加しています。施設別では、市立図書館が約 86 万冊で、全体の約 27%を占めています。

図表 年間貸出冊数の推移（平成 25 年度～27 年度）



※城南図書館(図書館)は平成 26 年 3 月 1 日開設

※移動図書館を除く

※市立図書館と幸田公民館図書室は平成 26 年度に工事による一時休館あり。

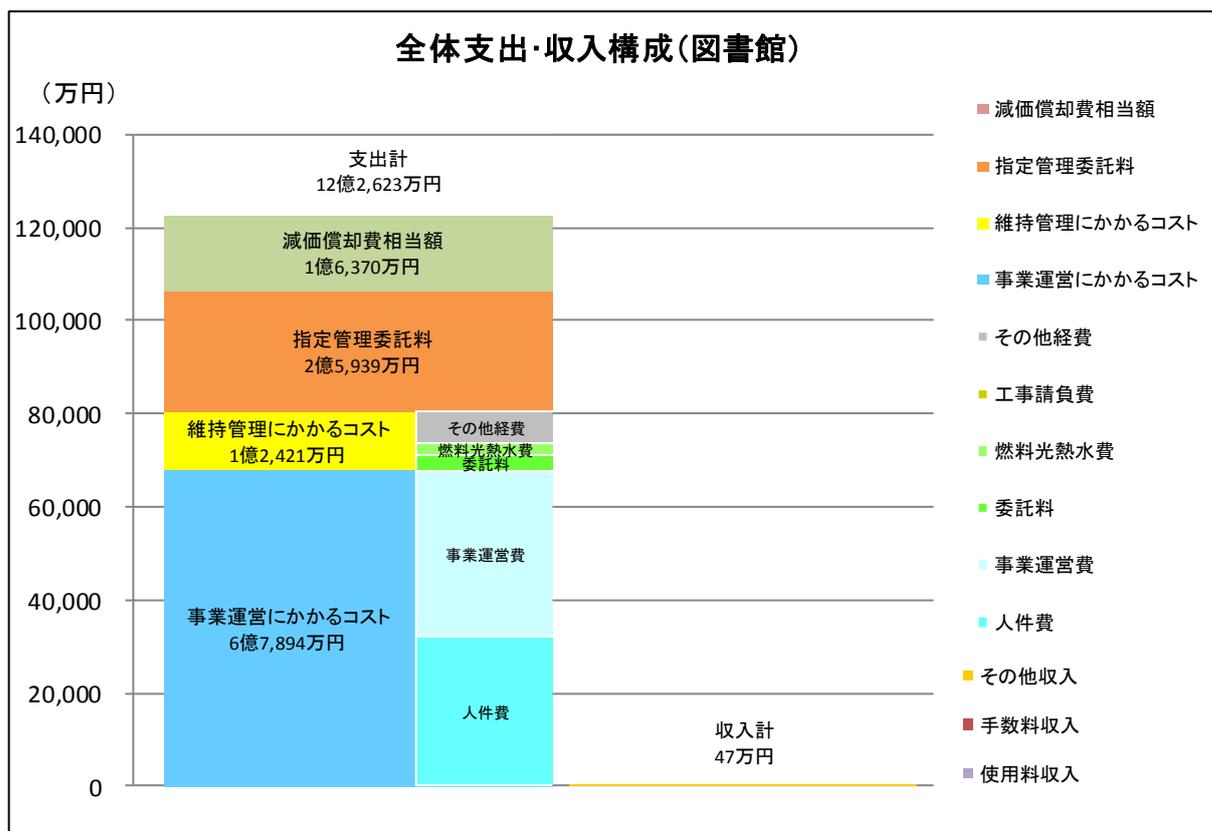
③コスト状況

年間トータルコストは、12億2,623万円です。このうち、減価償却費相当額は1億6,370万円(13%)指定管理委託料は2億5,939万円(21%)で、施設にかかるコストは1億2,421万円(10%)で、事業運営にかかるコストは6億7,894万円(56%)となっています。

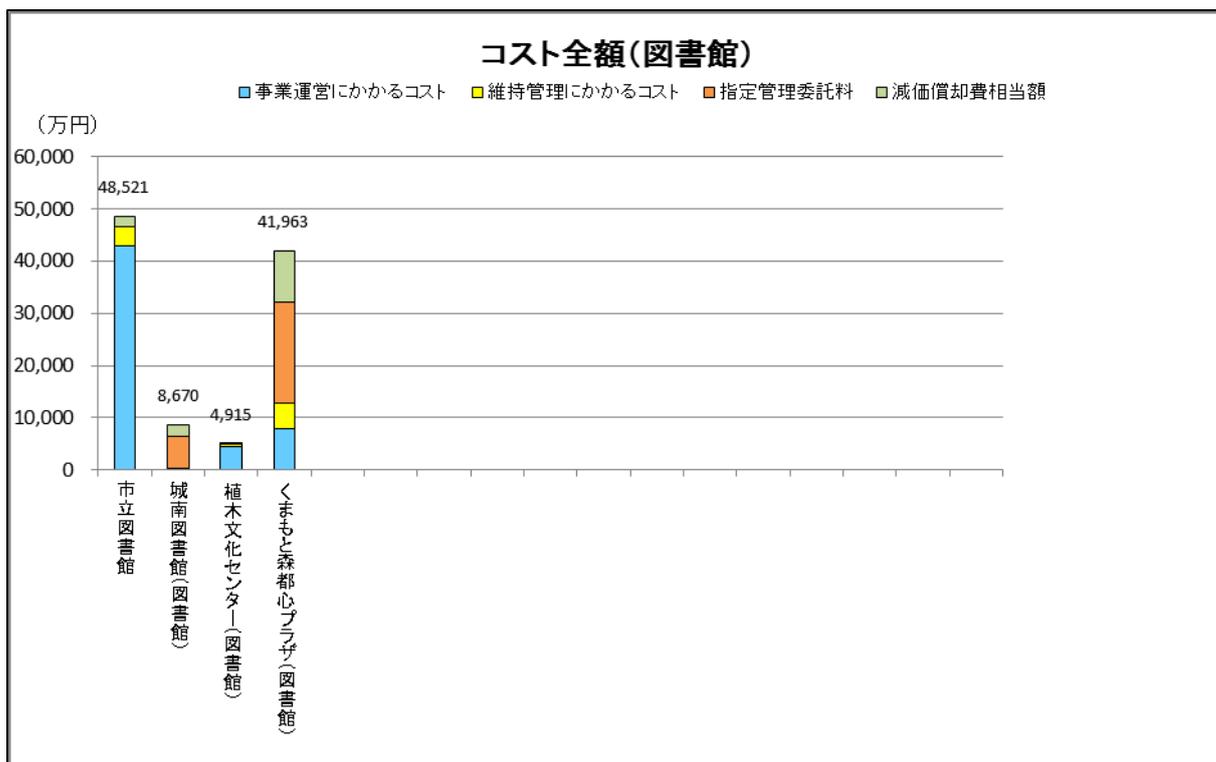
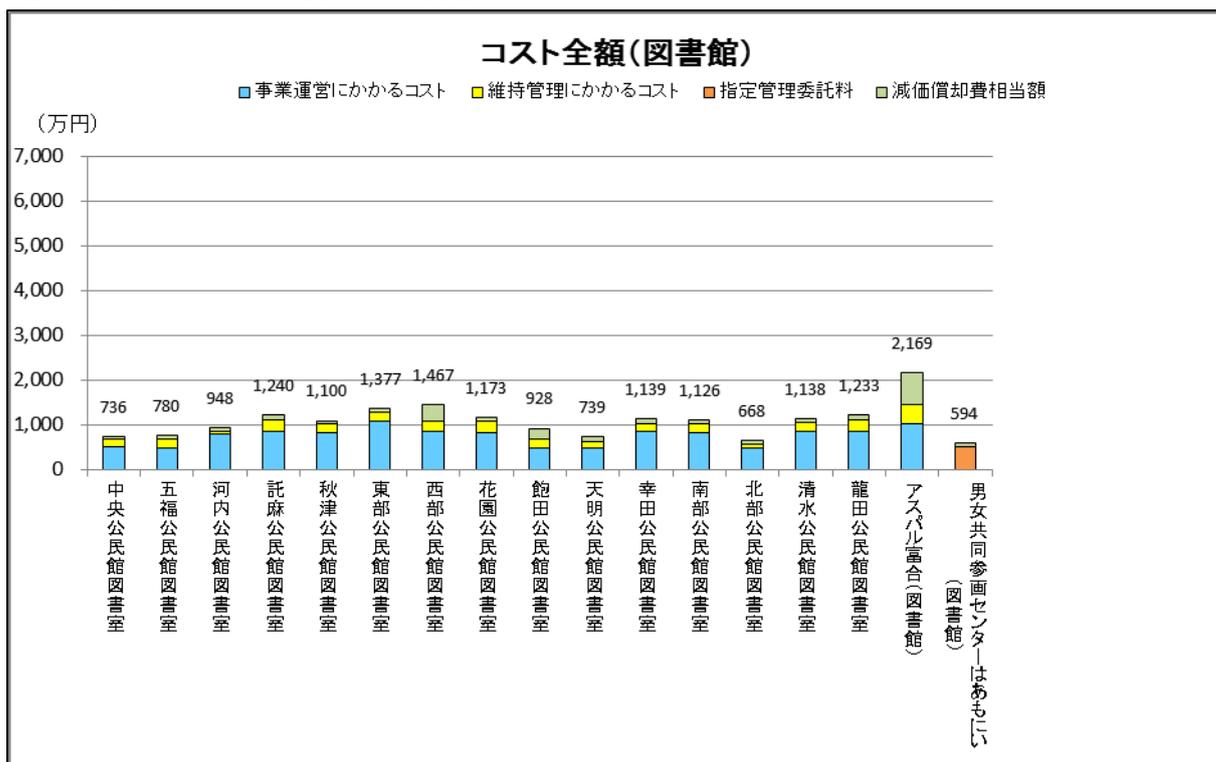
施設別では、市立図書館4億8,521万円で全体の40%を占めています。次いで、くまもと森都心プラザが4億1,963万円で全体の34%を占めています。

なお、市立図書館については、全図書館、全公民館児童室の図書管理システム等の中央機能を担っているため、事業運営にかかるコストが高くなっています。

図表 全施設トータルコスト（平成27年度）



図表 施設別コスト一覧（平成 27 年度）



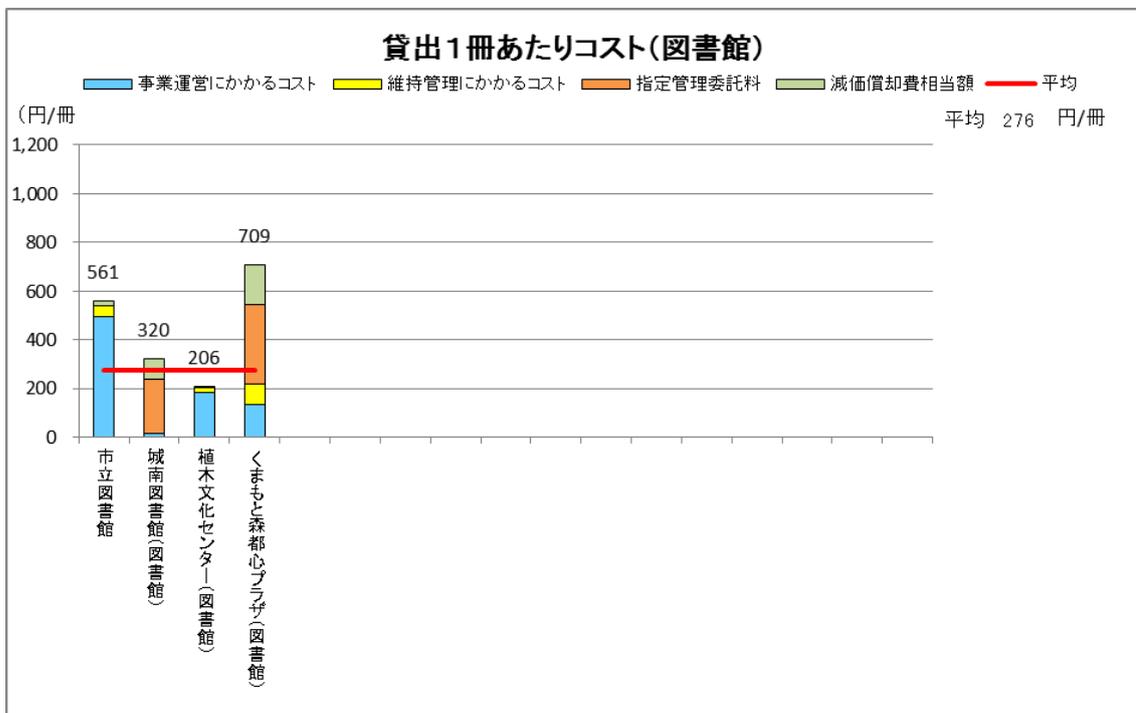
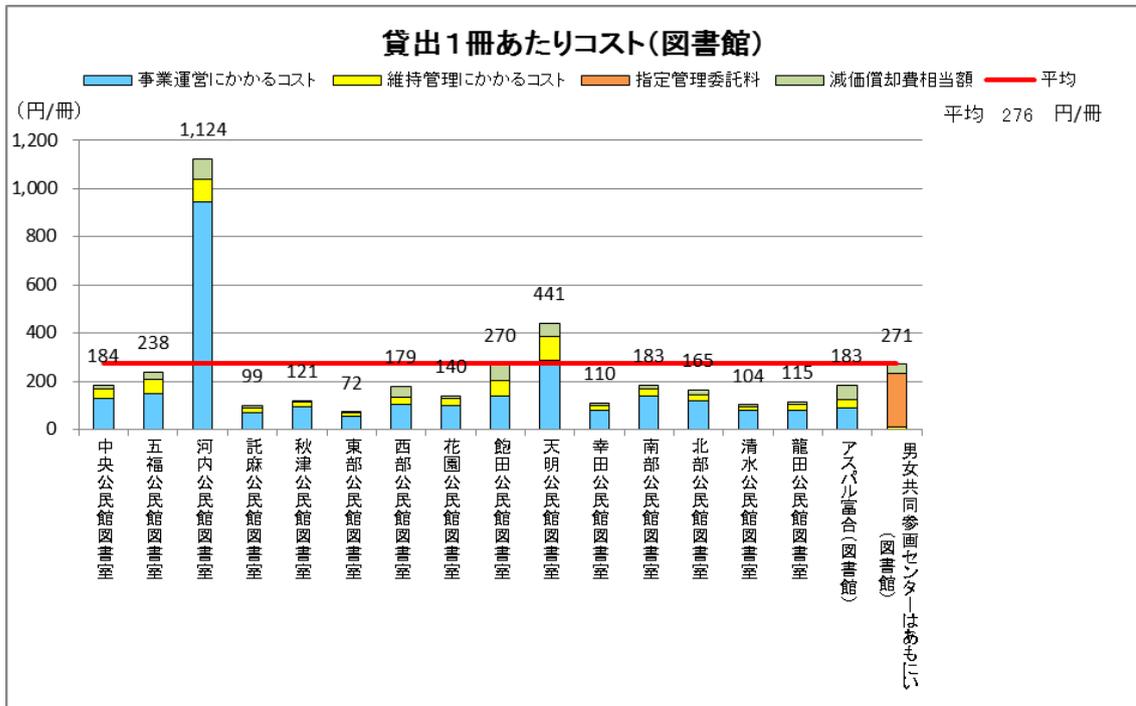
※移動図書館を除く

④評価・分析

施設別の貸出1冊あたりコストの平均は、276円/冊です。

市立図書館、くまもと森都心プラザ以外では、河内公民館図書室の1冊あたりコストが平均の4倍程度と高い状況です。

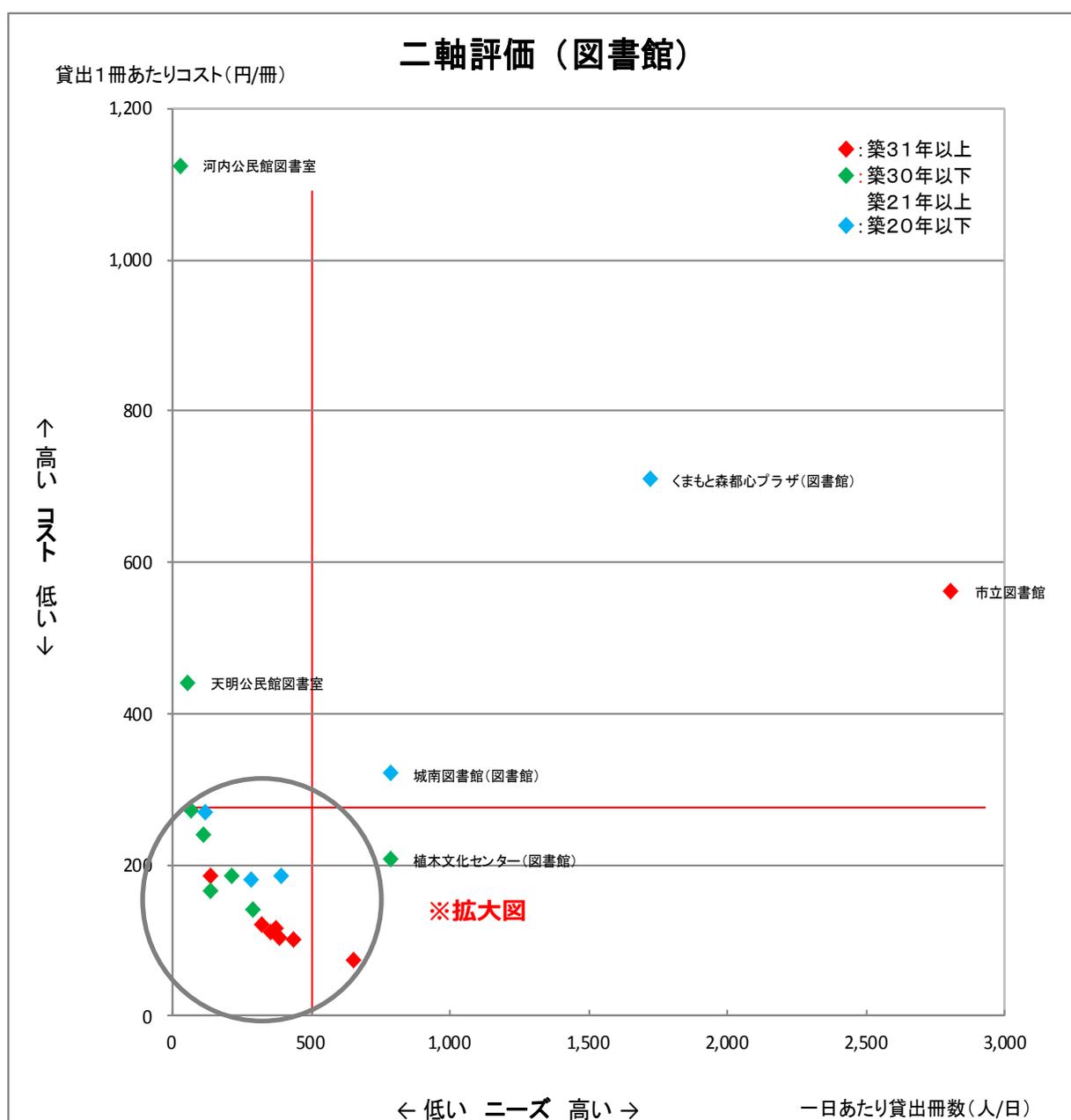
図表 施設別の貸出1冊あたりコスト（平成27年度）



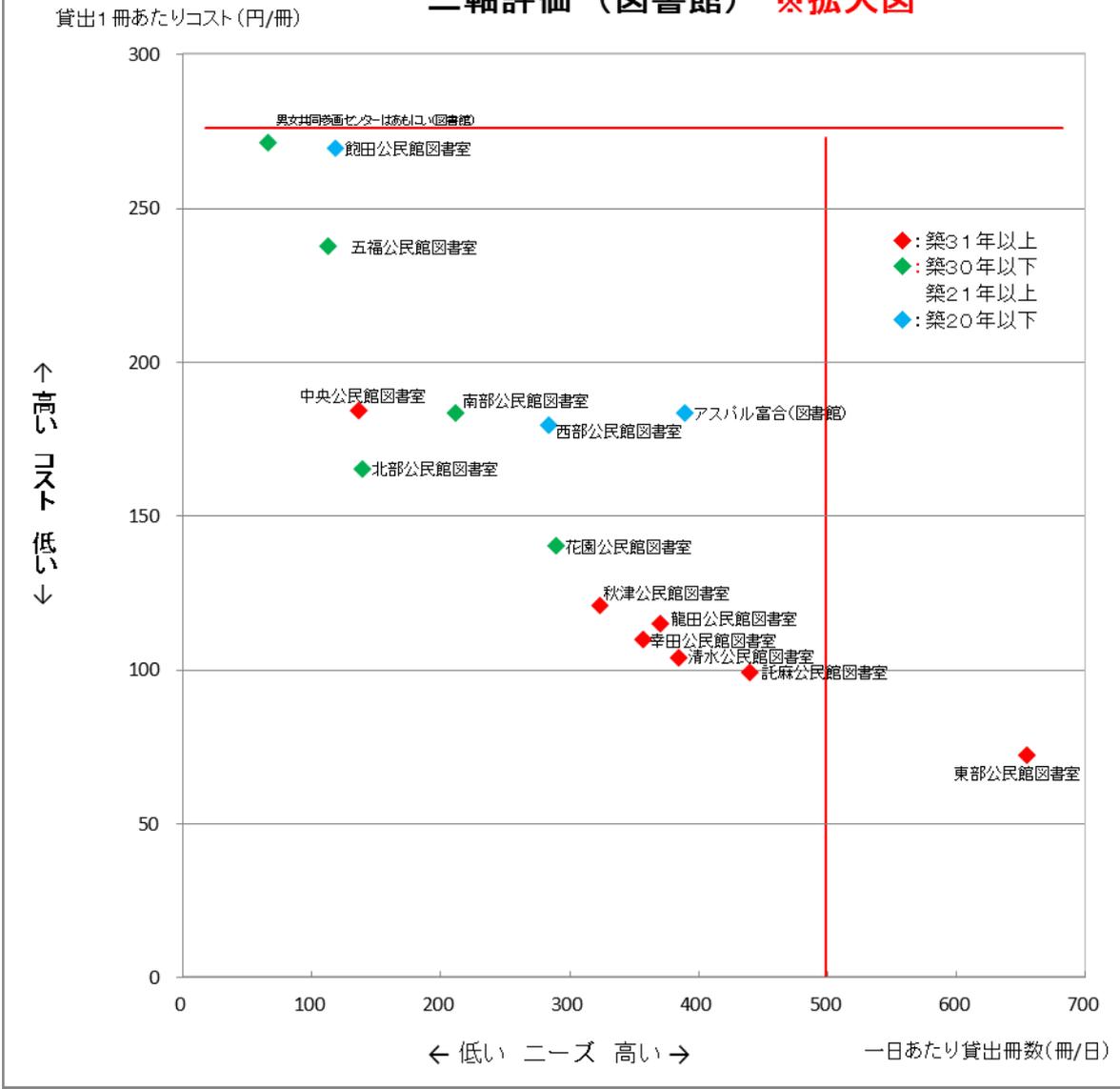
※移動図書館を除く

下図では、コストを貸出1冊あたりコスト、ニーズを一日あたり貸出冊数として各施設をプロットしています。横軸である一日あたり貸出冊数の平均は499冊で、縦軸である貸出1冊あたりコストの平均は276円です。市立図書館とくまもと森都心プラザの一日あたり貸出冊数は突出して多い状況です。その他の施設のうち多くは、コストが低くニーズが低い象限に集中しています。これを拡大すると(次頁)、貸出1冊あたりコストは、概ね100円から250円の範囲に、貸出冊数は約50冊から約400冊の範囲に分散しています。当該象限だけでも、1日あたり貸出冊数には約7倍の開きがあります。

図表 二軸評価 (平成27年度)



二軸評価（図書館） ※拡大図



3) 既存計画の概要

①第5次行財政改革計画（平成26年4月）

方針2 時代の変化を捉えた効率的・効果的な行政運営の推進

分野3 民間活力等の活用

プログラム名 37 図書館サービスの見直し

(実施概要)

- 住民・利用者の要望や社会の要請に応え、図書館、図書館分館、さらには公民館図書室それぞれの役割を踏まえ、基本的な考え方と方向性などを示す図書館サービスビジョン※を策定し、指定管理者制度の活用などを含め、住民の自主的な学習活動の場として地域の実情に即した図書館サービスの見直しを図る。

(現状と課題)

(現状)

- 平成25年度から、事務事業の更なる効率化を図るため、市立図書館についてカウンター業務を全て嘱託職員によるものとした。
- 2000人市民委員会アンケートにより、「図書館サービス」についての意見を聴取した。

(課題)

- カウンター業務の完全嘱託化の成果の検証、2000人市民委員会アンケート結果を分析し、分館・公民館図書室も含めた全市的な図書館サービスのあり方を検討する。
- ※図書館サービスビジョン・・・より市民に利用される図書館となるよう、公民館図書室を含め、市全体での図書館サービスのあり方について、基本的な考え方と方向性などを策定。

4) 総合管理計画における施設分野別方針

【総括的事項】

- ・行財政改革計画に基づき、運営体制を含めたサービスの見直しや施設の利用活性化に向けた検討を行います。

方針1

資産総量の適正化

- ・利用が低迷している図書館については、施設の必要性について検討を行い、再編や統廃合を進めます。

方針3

施設運営に要する総コストの削減

- ・公民館のあり方見直しと併せて、施設の老朽化対策を進めますが、例えば学校の空き教室の活用など、既存の公共施設の用途転用を含めて今後のあり方を検討します。

(8) 社会教育系施設：博物館等

1) 施設概要

本市の博物館等は、9施設あります。総延床面積は約1万7千㎡で、市が保有する施設の0.7%を占めます。築年数の状況は、築31年以上の施設が6施設、築20年以下が3施設です。

①施設一覧（平成28年4月1日現在）

No	名称	所在地	建築年度	築年数	延床面積 (㎡)	備考
1	現代美術館	中央区上通町2番3号	平成13年	15	6,415.91	
2	熊本博物館	中央区古京町3番2号	昭和52年	39	6,107.73	
3	徳富記念園	中央区大江4丁目10番33号	昭和44年	47	336.00	
4	リデル、ライト両女史 記念館	中央区黒髪5丁目23番1号	大正8年	97	340.68	
5	後藤是山記念館	中央区水前寺2丁目6番10号	平成8年	20	374.28	
6	横井小楠記念館	東区沼山津1丁目25番91号	昭和57年	34	456.00	
7	三賢堂	西区島崎5丁目32番27号	昭和11年	80	437.33	
8	塚原歴史民俗資料館	南区城南町塚原1924番地	昭和58年	33	1,387.28	
9	田原坂西南戦争 資料館	北区植木町豊岡858番地1	平成27年	1	690.41	
合 計					16,545.62	

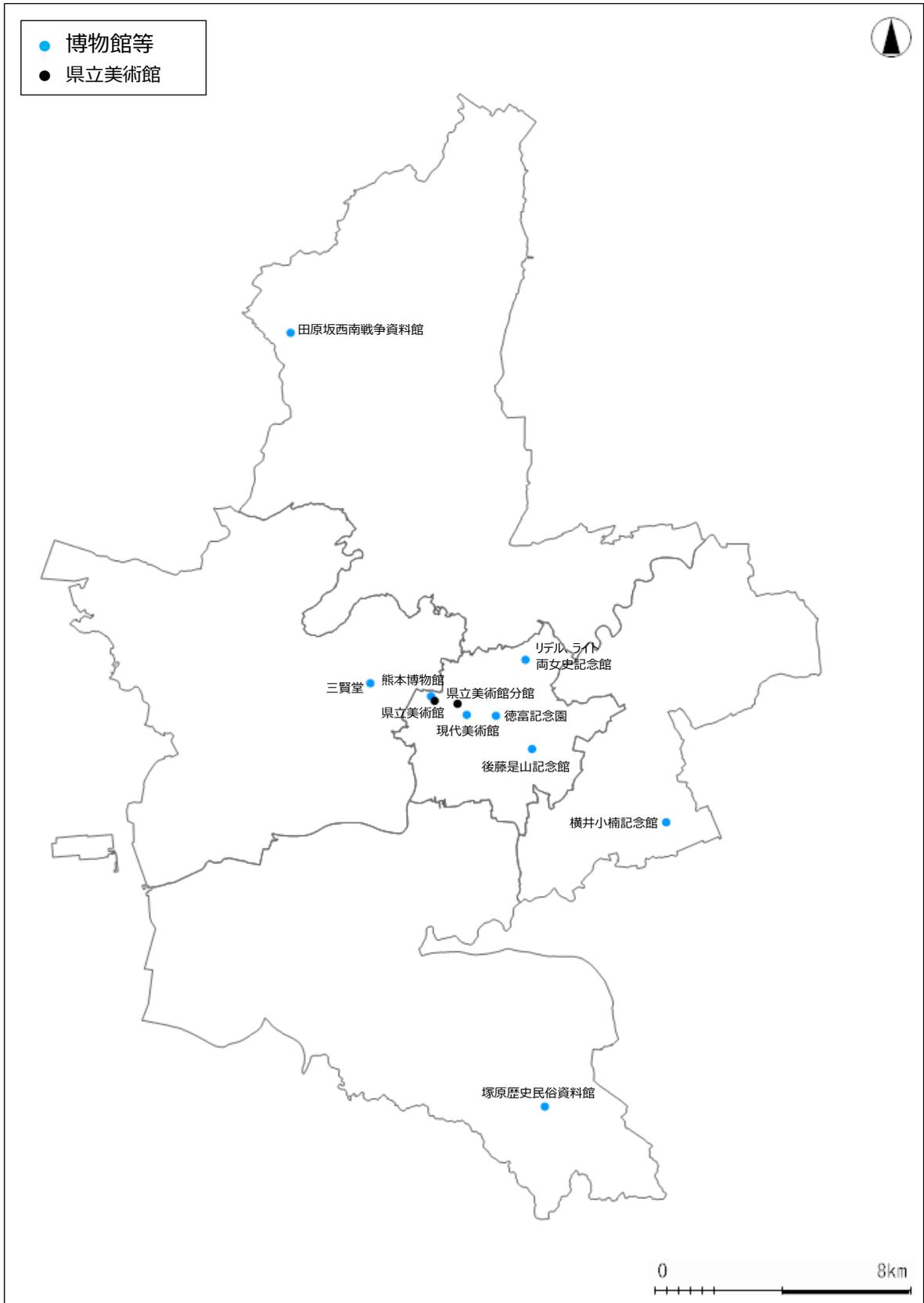
※ 国・県・市指定文化財については、対象施設から除く

(参考) 市所有の指定文化財（建築物）

名称	所在地	
旧細川刑部邸	中央区古京町3番1号	県指定文化財
熊本洋学校教師ジェーンズ邸	中央区水前寺公園22番16号	県指定文化財
明治天皇小島行在所	西区小島7丁目6番18号	市指定文化財
四時軒	東区沼山津1丁目25番91号	市指定文化財
徳富旧邸	中央区大江4丁目10番33号	市指定文化財
小泉八雲熊本旧居	中央区安政町2番6号	市指定文化財
御馬下の角小屋	北区四方寄町1274番地	市指定文化財

②配置状況

図表 施設配置図：全体（平成 28 年 4 月 1 日現在）



2) 実態把握

①運営状況（平成 28 年 4 月 1 日現在）

No	名称	運営時間	休館日	運営日数	運営方法 (直営、指定管理)	入館料等	
1	現代美術館	10:00～20:00	火曜日(当該火曜日が休日にあたるときはその直後の休日でない日)・年末年始	309	指定管理 (利用料金)	有	
2	熊本博物館	9:00～17:00	月曜日(月曜日が休日にあたるときはその直後の休日でない日)・年末年始	※ 78	直営	有	
3	徳富記念園	9:30～16:30		307	直営	有	
4	リデル、ライト両女史記念館	9:30～16:30		307	指定管理	無	
5	後藤是山記念館	9:30～16:30		307	直営	有	
6	横井小楠記念館	9:30～16:30		307	直営	有	
7	三賢堂	9:00～17:00		307	包括委託	有	
8	塚原歴史民俗資料館	9:00～16:30		308	直営	有	
9	田原坂西南戦争資料館	9:00～17:00		年末年始	359	直営	有

※ 熊本博物館については、リニューアル工事のため、平成 27 年 7 月から休館中
(上記運営日数は、平成 27 年 4 月～6 月までのもの)



徳富記念園



横井小楠記念館



後藤是山記念館



リデル、ライト両女史記念館

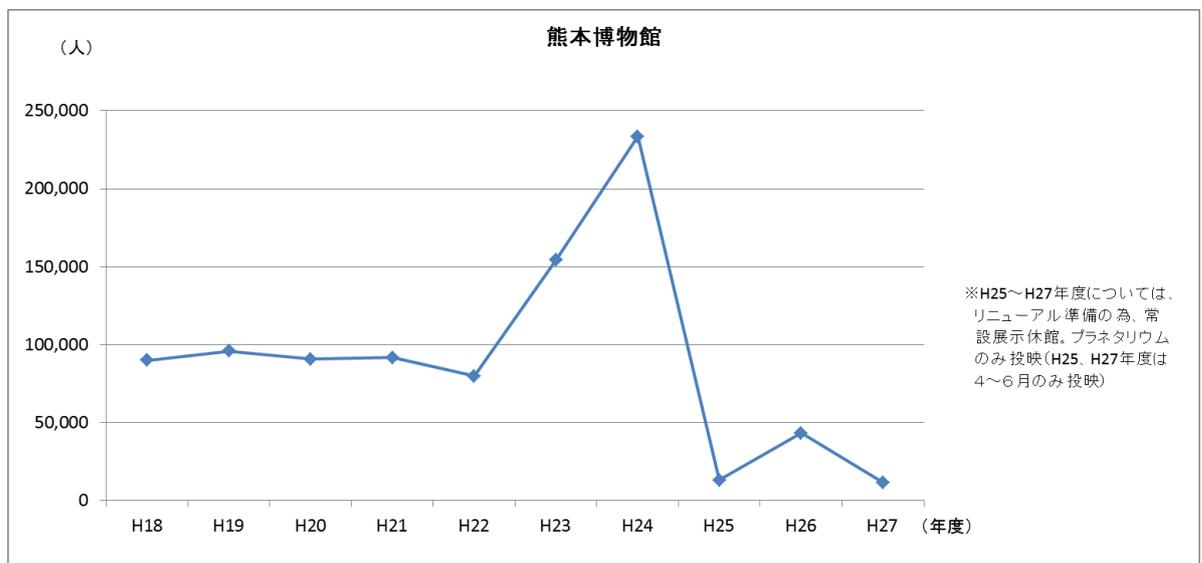
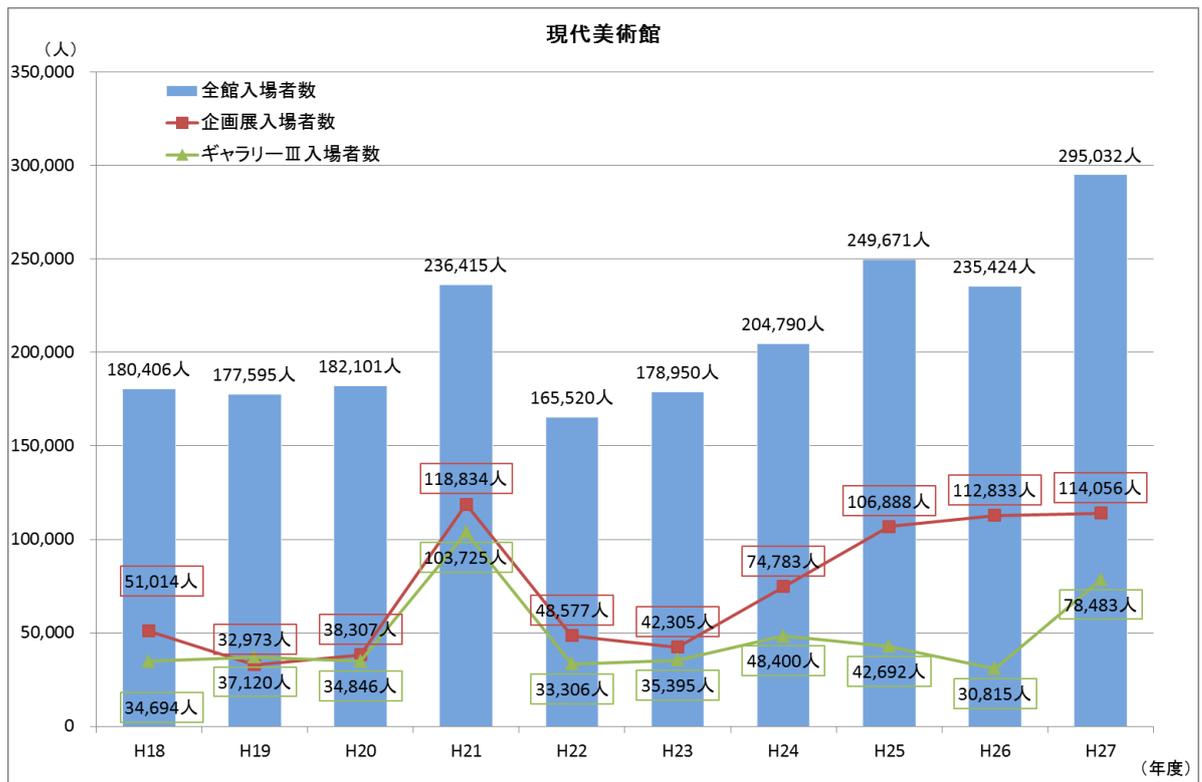


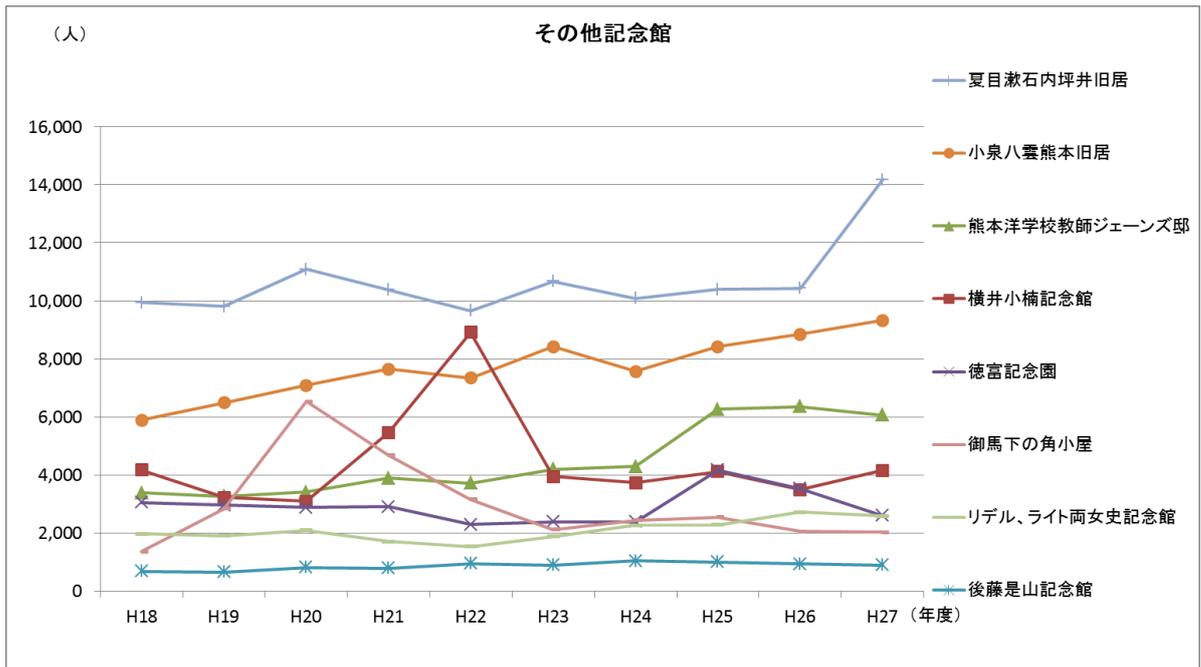
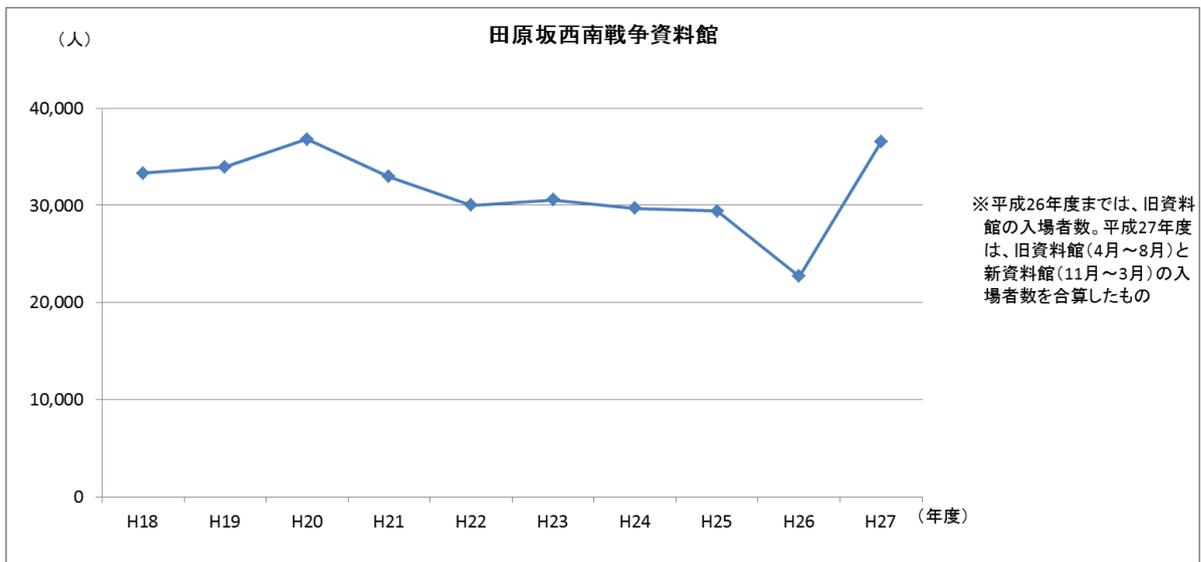
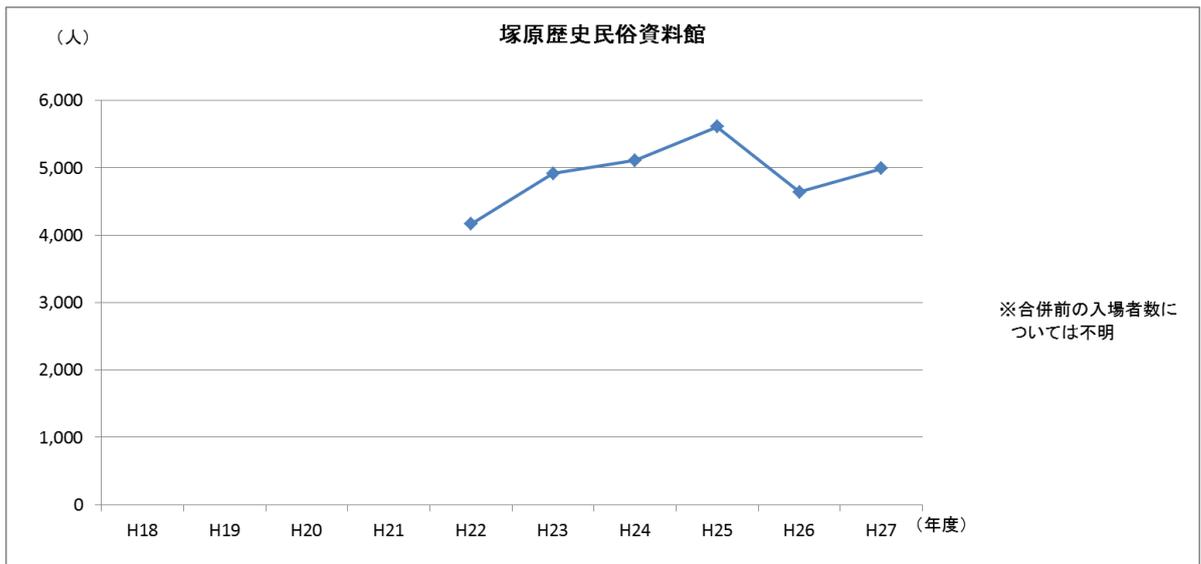
三賢堂

②利用状況

現代美術館は、近年 20 万人を上回る入館者となっています。熊本博物館の入館者は、小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル特別公開（平成 23 年度）や恐竜展（平成 24 年度）などの開催により増加していましたが、リニューアルのため平成 25 年から平成 27 年までは、プラネタリウムのみ投映を行っていました（現在は休館中）。旧田原坂西南戦争資料館は、平成 20 年の約 3.7 万人をピークに減少していましたが、平成 27 年 11 月には新資料館がオープンし、入館者数も増加しています。塚原歴史民俗資料館以下、その他の施設の入館者数については、概ね 1 万人以下で推移しています。

図表 入館者数の推移（平成 18 年度～27 年度）



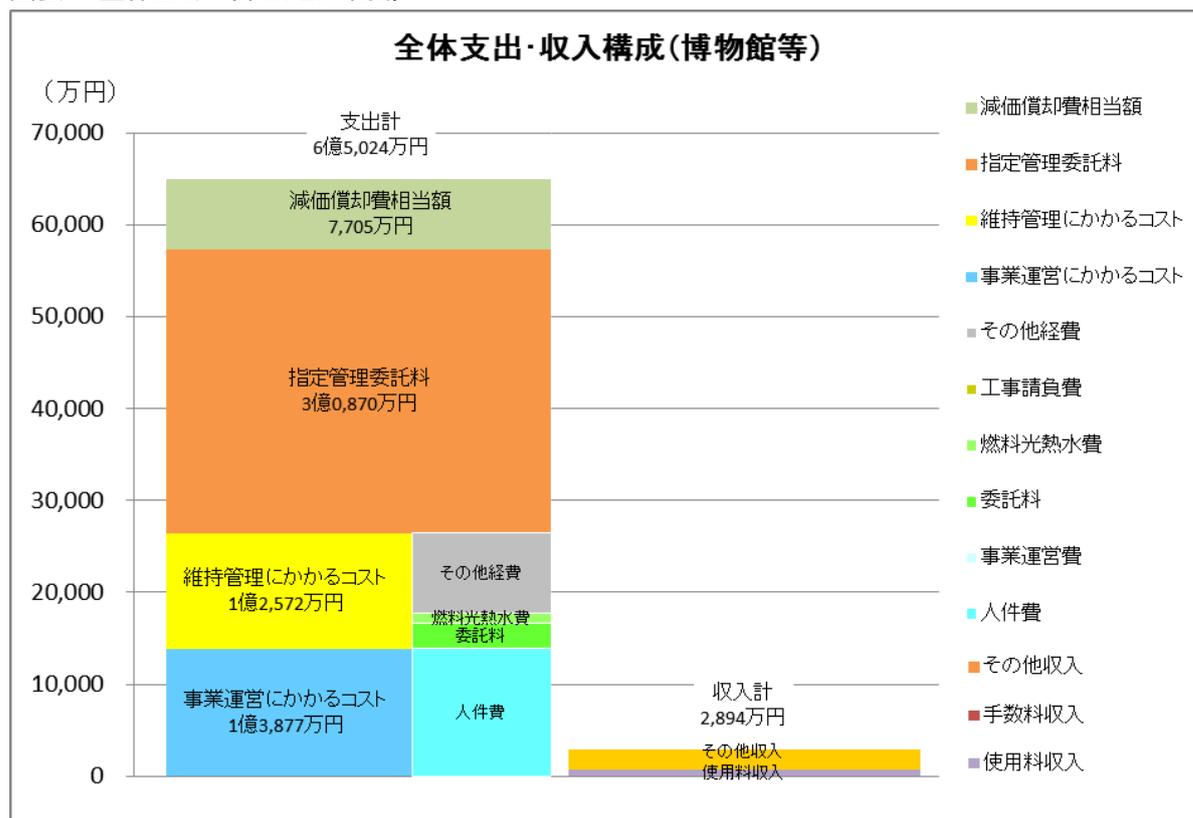


③コスト状況

年間トータルコストは、6億4,602万円です。このうち、減価償却費は7,705万円（12%）で、指定管理委託料は3億870万円（48%）、維持管理にかかるコストは1億2,150万円（19%）で、事業運営にかかるコストは1億3,877万円（21%）となっています。

施設別では、現代美術館が4億2,412万円で全体の66%を占めています。次いで、熊本博物館が1億5,475万円で全体の24%を占めています。

図表 全体コスト（平成27年度）



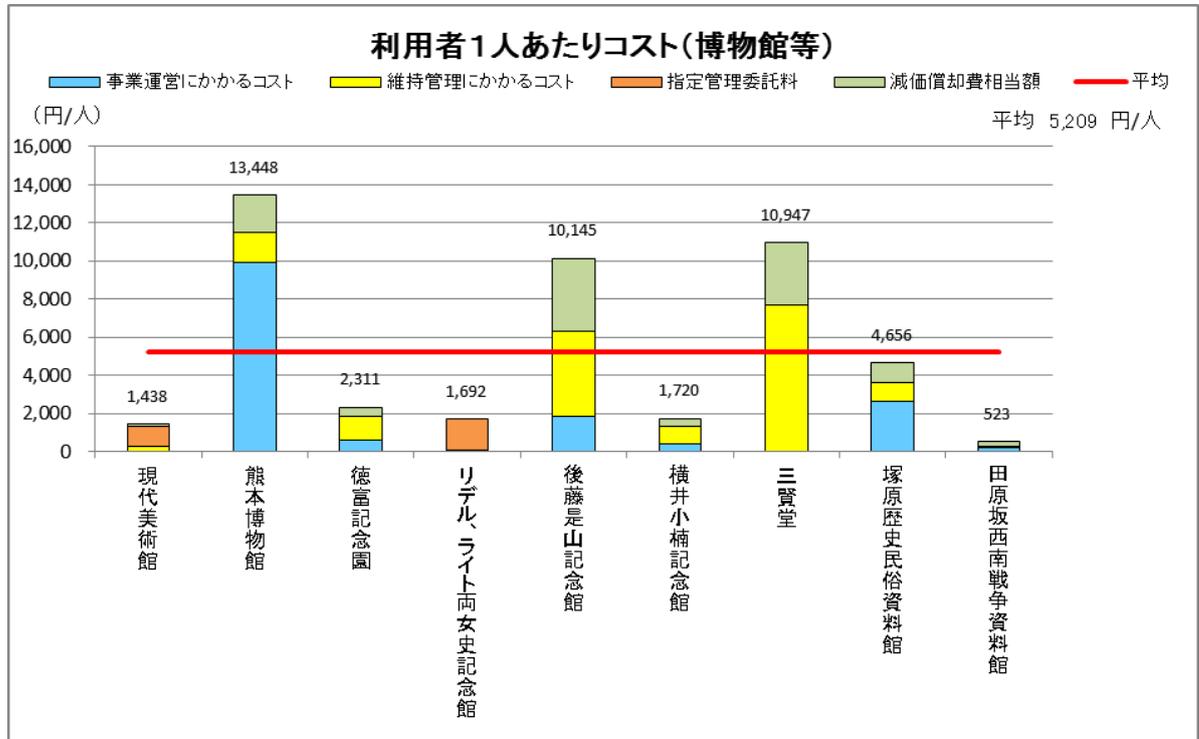
図表 施設別コスト一覧（平成27年度）

No	施設名	支出（円）				支出計	収入計（円）
		事業運営費	維持管理費	指定管理費	減価償却費		
1	現代美術館	0	85,288,632	304,483,834	34,351,200	424,123,666	21,548,409
2	熊本博物館	113,875,598	18,328,909	0	22,547,060	154,751,567	1,168,659
3	徳富記念園	1,644,000	3,163,648	0	1,209,600	6,017,248	251,420
4	リデル、ライト両女史記念館	0	0	4,374,238	0	4,374,238	0
5	後藤是山記念館	1,641,480	4,012,142	0	3,426,424	9,080,046	63,140
6	横井小楠記念館	1,679,160	3,830,393	0	1,641,600	7,151,153	418,641
7	三賢堂	0	1,679,524	0	717,844	2,397,368	6,700
8	塚原歴史民俗資料館	13,095,600	5,071,528	0	5,056,208	23,223,336	305,300
9	田原坂西南戦争資料館	6,832,852	4,193,870	0	8,097,900	19,124,622	5,173,991

④評価・分析

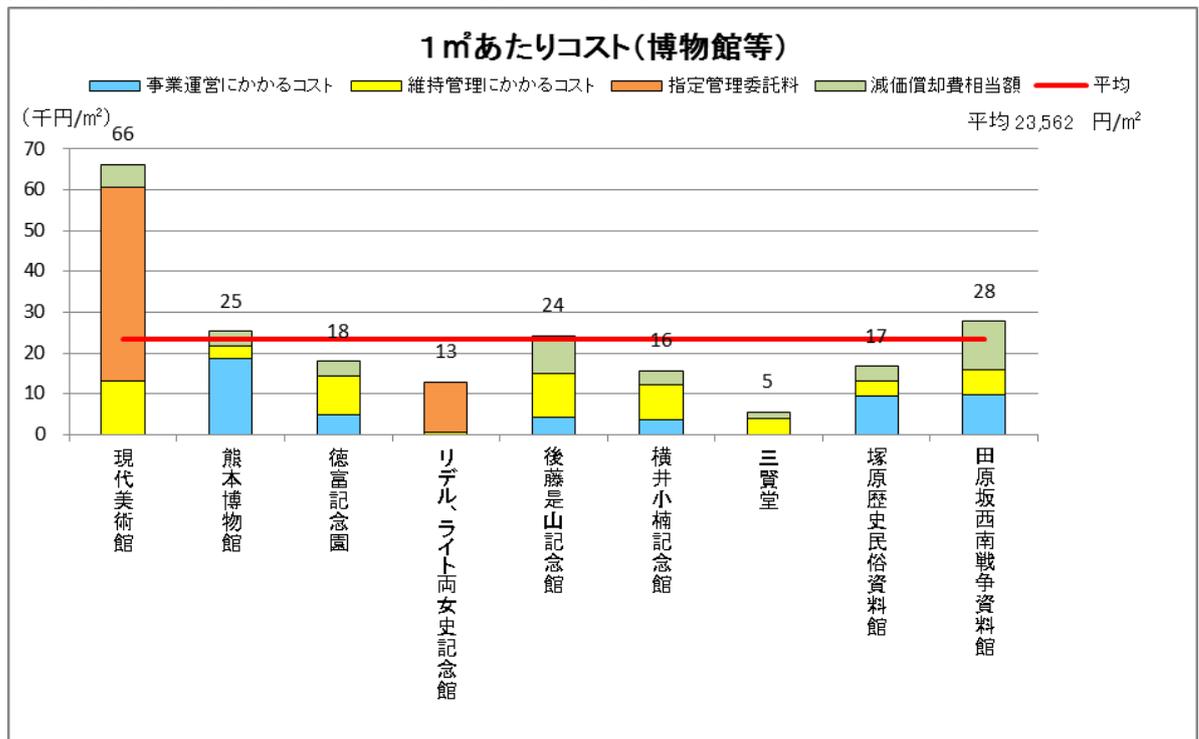
施設別の利用者1人あたりコストの平均は、5,209円/人です。

図表 施設別の利用者1人あたりコスト（平成27年度）



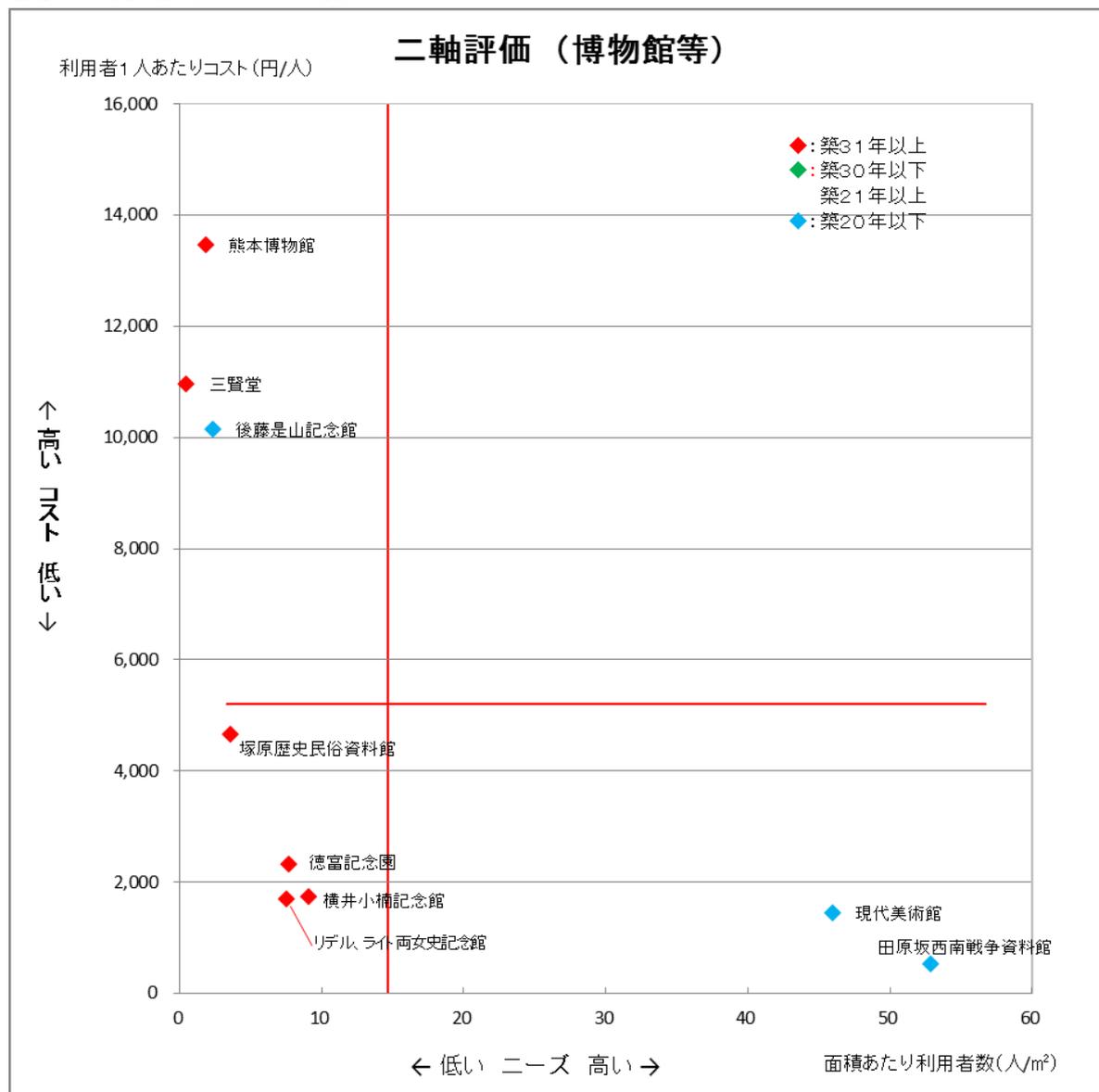
施設別の延床面積1㎡あたりコストの平均は、23,562円/㎡です。

図表 施設別の延床面積1㎡あたりコスト（平成27年度）



下図では、コストを利用者1人あたりコスト、ニーズを面積あたりの利用者数として、各施設をプロットしています。横軸である面積あたりの利用者数の平均は14.6人で、縦軸である利用者1人あたりコストの平均は4,698円です。田原坂西南戦争資料館は、面積当たりの利用者数が最も多く、利用者1人あたりコストが最も低い施設です。次いでニーズが高く1人あたりのコストが低いのが現代美術館です。その他の施設はニーズが低い象限にあります。

図表 二軸評価（平成27年度）



※ 熊本博物館は、リニューアル準備のため常設展示休館。4月～6月までプラネタリウムのみ投映。

3) 既存計画の概要

①博物館改修工事の概要

平成 22 年に報告された『熊本博物館のリニューアルに関する検討結果について(報告)』を受けて、「熊本市の政令指定都市移行を機に、熊本博物館を政令指定都市にふさわしい総合博物館として生まれ変わらせ、市民や県民、さらに熊本を訪れる観光客にも親しまれる博物館とする」ため、『熊本博物館リニューアル基本構想・基本計画』が策定されました。

その後、地盤等の詳細調査を踏まえ、国等との協議を進めつつ、リニューアル事業が進められています。リニューアル事業の概要は以下のとおりです。

- 国指定重要文化財「細川家舟屋形」を展示公開するとともに、国指定重要文化財・才園古墳出土品の展示コーナーを新たに設置します。
- 人文系の展示は、装飾古墳や加藤・細川家、西南戦争、城下町などの熊本の特徴的な歴史を紐解くものに力を置きます。
- 自然系の展示は、市内にとどまらず、熊本県博物館ネットワークセンターと連携し、県内の特徴的な動植物や地質を紹介します。
- 博物館機能と、博物館の役割を紹介する展示コーナー(収蔵展示室)を設けます。
- 子どもたちが楽しく活動しながら自然科学の原理や技術・歴史・伝統文化などを体験的に学ぶ場所として「実験室」をつくります。
- 黒川紀章氏のデザインを壊さないようにしながらも、収蔵庫の拡大、空調やトラックヤードの整備などの博物館機能をより高めます。
- 国宝・重要文化財等を展示する「公開承認施設」に対応した設備を目指します。

また、同時に以下の施設整備を行います。

- 吹き抜け空間を二層化し、展示・収蔵空間を増やします。
- 設備改修を進めます。
 - 老朽化(雨漏りなど)が改善されます。
 - 冷暖房効率が良くなり、省エネ化が進みます。
 - 授乳室の設置やトイレの洋式化などにより、いろいろな人々が使いやすくなります。

4) 総合管理計画における施設分野別方針

方針2 施設の長寿命化の推進

- ・ 現代美術館や熊本博物館は、熊本連携中枢都市圏構想においても一定の役割を担う公共施設であり、更なる魅力の向上に努めつつ適切なメンテナンスによって、施設の長寿命化を図ります。

方針3 施設運営に要する総コストの削減

- ・ その他の施設については、運営手法の見直しや利用活性化に向けた対策を進めつつ、老朽化が進んでいる施設については、今後のあり方を検討したうえで、改修や更新の方針を決定します。